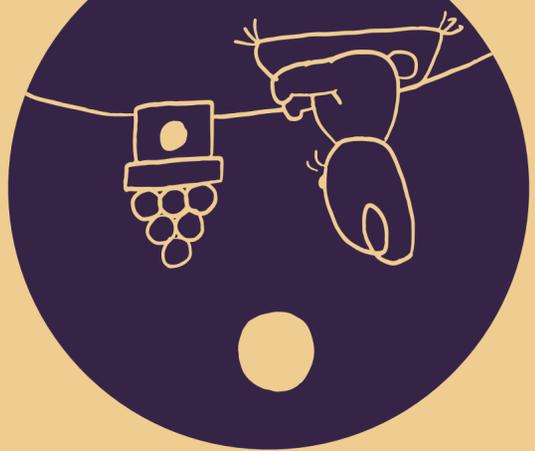


Illustration by morii / Rabbit Enjoying the Autumn Moon.



19MAGAZINE

19UNLIMITED PRESENTS

Please read on !

SHUNTARO AOKI

一級建築士 青木俊太郎の建築の知識が豊かになるコラム

旅と僕と名建築



「下瀬美術館」 広島県大竹市 (2023年3月開館)



今回紹介する建物は広島県大竹市にある「下瀬美術館」。建築家・坂茂氏が設計した美術館です。見所がたくさんありワクワクしながら全体を見学しました。一番インパクトが強かったのが、建物外周部のほぼすべてに鏡面のミラーフィルムを用いていたデザインです。瀬戸内海や町・山・島などに囲まれている立地条件の中で、周囲の風景を鏡を使い映し出すことで建物自体の存在感を消し、風景に溶け込むようなアイデアと周辺環境に対するリスペクトを感じます。

内部には構造としても機能している特徴的な柱が出迎え、瀬戸内海が一望できる開放的な空間が広がります。館内に入るまで中の様子が全く見え、そのギャップによって一気に建物に引き込まれました。

外部すべてが鏡面で存在感を消しているかというそうではありません。水辺に浮いているような展示室は1つ1つのキューブがカラフルな配色で、メイン建物が存在感を消している分、美術館機能として重要な展示室にスポットを当てている印象です。貨物船のコンテナを彷彿させるデザインが海の近くに立地しているという土地の要素を生かしているのだと思います。まさに瀬戸内海という自然豊かな環境があったからこそできた名建築だと感じました。

旅のおしえ... 水辺のグレーチングの溝にはカラフルで綺麗な石がはめ込まれ、アクセントに、無骨さが無くなり、愛らしいデザインになっていました。

TONOKI YOSHIKANA

プロジェクトマネージャー 吉浜知輝がサウナの魅力を熱く伝えるレポート

全国ととのい行脚



「Snow Peak FIELD SUITE SPA HEADQUARTERS」を今回はご紹介いたします。人気のサウナマシーンメーカー「METOS」の「ikiヒーター」を中心に、焚き火を囲むような円形のサウナ室は入口のドアが開いても室内温度が下がりにくい構造になっていると感じました。落ち着いた暗さのある水風呂は水深120cm!天井から垂れ下がる長い1本のパイプから給水される仕様で、水の中に溶け込んでいくような感覚でした。とのい椅子はすべてSnow Peak製で統一されています。燕三条を見下ろす景色と自然豊かななどの空間、すべてが隈研吾氏によって設計された浴室で、他では類をみない体験ができます。ぜひ実際に体感してみてください。それでは「ナイスサウナ！」

雪の自然を眺める円形のサウナ室 水深120cmの水風呂

DAWEI LI

プロジェクトマネージャー 李大偉がスムーズな建設プロジェクト方法を紹介するコラム

プロジェクトマネジメントのコツ



Vol.22 土壌汚染対策法について①

現在進行中のプロジェクトでは土壌調査を行っております。今月から2~3回分けて土壌調査についてご紹介いたします。土壌汚染とは、法令で規制される一定基準値以上の特定有害物質が地表や地中に存在しており、それを除去しないと土地の活用ができない状態のことを指します。その対策を定めた「土壌汚染対策法」は土壌汚染の可能性がある土地に対して土壌汚染状況調査を義務付け、必要な対策を行うことを定めた法律です。特定有害物質による土壌汚染の状況を確認・把握、対策、人への健康被害や環境への悪影響を防止するのが目的です。具体的な特定有害物質については、土壌汚染対策法施行規則でその種類と基準値が定められています。建築プロジェクトにおいて、土壌調査の対応にはかなり時間とコストがかかることがわかります。

「トップファクトリー」サイトはこちら

LIA HIYAMA

空間プランナー トイレ研究者・日山莉愛のトイレデザインレポート

トイレデザイン日記



テントのような形状のトイレ入口



赤茶色に錆びた銅板の外壁

今回ご紹介するのは大阪城公園の中にある公衆トイレです。屋根と側面の外壁には銅板が使われ、錆びた色合いが無骨で重々しい外観となっています。パッと見でトイレとは思えないほど存在感がありました。トイレは清潔感を出すために明るい色やキレイなデザインでまとめられることが多いので、このようなデザインは衝撃的でした。パーテーションや手洗いはステンレス製で仕上げられていたのも、内部も一般的なトイレは違って、工業感があった印象的でした。トイレの入口の形状は三角形、照明も壁付けランプだけだったのでトンネル

のようなつもりでした。入口に扉はありませんが、男女動線が被らないよう外にも男女トイレの間に手洗いを配置して区切り、レイアウトに工夫を施していたので不快感はありませんでした。内部の通路には照明を設けておらず、各個室にある間接照明と自然光で足元を照らしていました。外壁と繋がる屋根は湾曲しており、屋根と壁の間から自然光が十分に差し込んでいたので明るさが足りないとは感じませんでした。その間からは自然光だけでなく外の植栽が見えるようになっており、屋外トイレの良さをデザインに上手く反映した公衆トイレだなと思いました。

大阪城公園 平540-0002 大阪府大阪市中央区大阪城1-1 営業時間/常時開館・休園日なし

AYANA MORI

グラフィックデザイナー 森居綾那のリアルタイム子育て絵日記

おかーさんにっき



Comic strip panels showing a child drawing and talking to their mother.

Advertisement for Lily's Kitchen dog food featuring a dog and a product can.

＜ ジュークの最新ニュースはこちら ＞

NEWS

「いわてつながらナイト」に吉浜登壇
いわて若者カフェ主催、若者限定の交流会「いわてつながらナイト」のゲストスピーカーとして吉浜が登壇しました。留学、地方創生、ジュークでの仕事など自分の体験談を語り、参加者の方々と交流しました。



NEWS

中学生からジェンダーについて取材
岩手大学教育学部附属中学校1年生からジェンダー、LGBTQ+に関する取材を受けました。5名の中学生が来社し、意見交換を行いました。子ども達の意識の高さに岩手でのally推進の必要性を改めて感じました。



NEWS

社会人インターンシップを受け入れ
設計・営業の社会人インターンシップを行いました。異業種から参加の2名が希望職種に沿った課題を行う2日間のカリキュラム。最後は皆の前でプレゼンテーションをしてインターンシップを締め括りました。



INFORMATIONS ●10/26-27 ベンチマーク視察団@広島 ●12/5 加藤セミナー「KITAKAMI O2の舞台裏」@北上(小田島組) ●12/6 ベンチマーク視察団@東京

ブランディングに役立つ本と映画ご紹介

Book recommendation: The Tokyo Toilet by Ryoji Yamada.

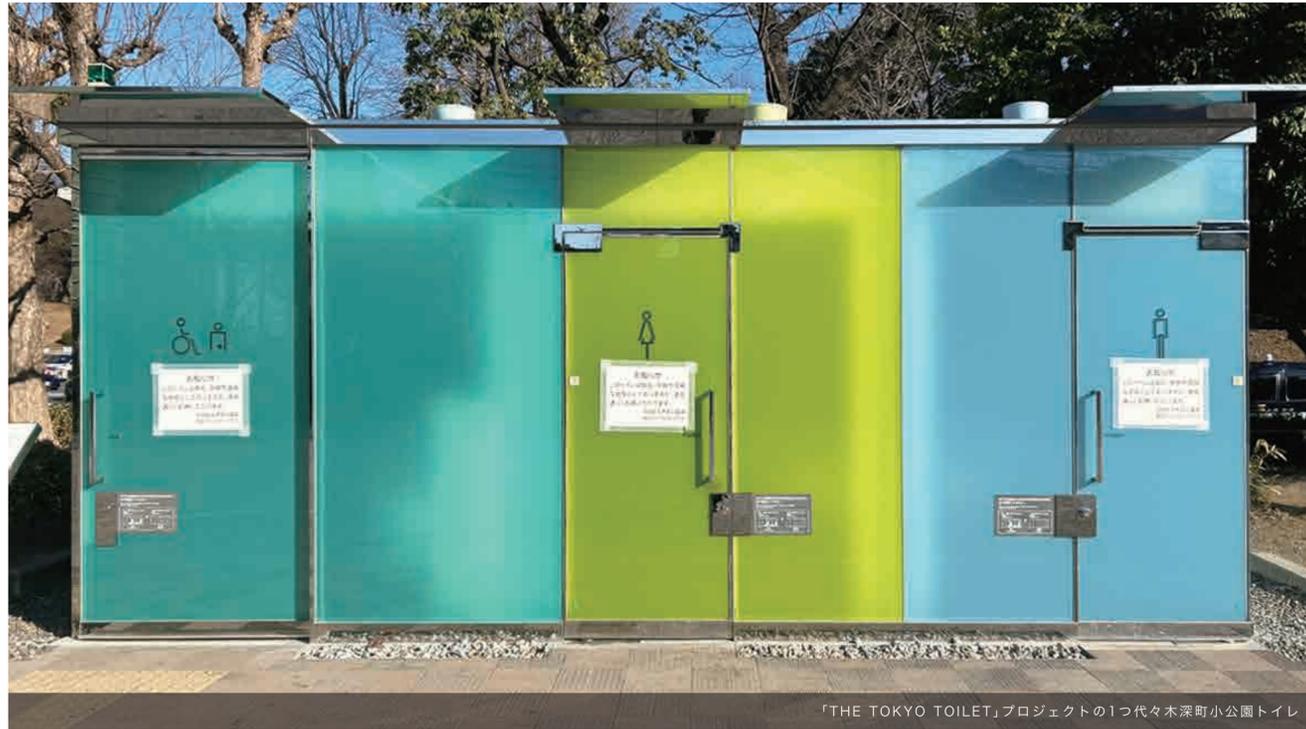
THE TOKYO TOILET プロジェクトでつくられた全17棟の公衆トイレを紹介している本です。写真、図面等が記載されている他、関係者へのインタビューも収録されているので、どういう意図で設計されたのかを知ることができます。ぜひ、映画「パーフェクトデイズ」と合わせて読んで欲しいです！本は10月発売予定。

Movie recommendation: Perfect Days directed by Hirokazu Koreeda.

東京・渋谷の公共トイレ清掃員の日々を描いた長編映画。今月のトップ記事で日山が取り上げた渋谷のデザイナーズトイレが舞台です。主演は本作で第76回カンヌ国際映画祭最優秀男優賞に輝いた役所広司。2023年12月22日(金)より公開されるので、渋谷に行けない人も、ぜひ映画館で美しいトイレをご覧ください！

IF YOU WANNA BE UNLIMITED, YOU SHOULD READ THIS ! 19UNLIMITED PROJECT DRIVE & DESIGN

トイレ研究家・日山莉愛の1年の活動を振り返って



3K問題と研究のきっかけ

公共のトイレと学校のトイレは3K(臭い・汚い・怖い)と言われており、あまり良い印象を持たれていません。不気味なイメージで近寄りたくないという人も多いようです。

水回り商品を提供しているTOTOが行った調査でも「学校のトイレに行くのが憂鬱だと感じている生徒は多い」ことが明らかになっています。私も小学生の頃、トイレに行くのが憂鬱でした。日常的に利用するトイレが使いにくい場所になってしまっていることは問題だと感じています。

2018年に日本財団が立ち上げた「THE TOKYO TOILET」プロジェクトでは渋谷区17カ所の公共トイレを建築家、デザイナーが手がけました。多様性を受け入れる社会の実現を目的に、性別、年齢、障害を問わず、誰もが快適に使用できる公共トイレです。このプロジェクトでつくられたトイレに3Kの要素は無く、デザイン性の高いトイレばかりでわざわざ行ってみたいくなります！こうした事例を見ていくと、トイレの嫌なイメージは空間デザインで変えられると思います。「わざわざ行ってみたいくなる、見た目が美しいトイレってどんなものがあるだろう？」

「有名な建築家はトイレまでこだわっているのかも」と探求してみたくなったのが、トイレの研究を始めました。今では建物に入るのとトイレのピクトグラムを自然と探してしまうようになりました(笑)

トイレの重要性

トイレが綺麗だとそれだけで気分が良くなりませんか？

私は少なくともトイレが綺麗な飲食店や商業施設に行くのが好きです。実際に、どんなに美味しい飲食店でもトイレが汚ければお客さんのリピート率に悪影響を及ぼすというデータもあるようです。トイレは1人きりになる空間なので、余計に細かい部分に目がいくといわれます。

トイレに常駐することはないですが、普段から使う場所で、誰もが利用する可能性があるからこそ、デザイン性を持たせるべきだと感じます。

維持管理が一番重要

約1年、公衆トイレや商業施設のトイレなど非住宅のトイレを見てきました。どんなにデザイン性の高いトイレでも、維持管理がなされていないと意味がないと感じました。首都圏のあるトイレを訪れた際、ほと

どの個室が汚く、利用ができませんでした。

「THE TOKYO TOILET」プロジェクトは渋谷区を中心に日本のトイレの印象を変えようとしたプロジェクトです。公衆トイレを建てて終わりではなく、その後の維持管理も一貫して行われています。清掃員にはデザイン性のあるユニフォームを着用してもらい、楽しく仕事できるように配慮されています。このプロジェクトを題材にした映画「パーフェクトデイズ」が今年公開されました。主演・役所広司さんが365日休まず1日に2回、公共トイレのメンテナンスを行う清掃員を演じます。この映画がきっかけで、清掃中に街の人に話しかけられるようになったということもあったようです。

こういったプロジェクトを通して私自身、維持管理してくれる人がいるから気持ちよくトイレが利用できるかと再認識できました。

今後は様々なトイレを見てきたことを活かして、オフィスを提案する際にもトイレに「企業らしさ」を取り入れるなどデザイン性を重視し、綺麗に使い続けたいという工夫を考え続けていきたいです。



シアバタースキンケア製品「イルシア」
一年の企画開発を経て新発売@山口
く人にも地球にも環境にもやさしい
スキンケアシリーズのプロダクトデザイン

ON-GOING PROJECTS

進行中プロジェクトをチラ見せ

No.22

「イルシア」公式サイト▶



鉄道情報通信機器製造「ユタカ電業株式会社」から発売されたスキンケアシリーズ「イルシア」

現在、本社建替プロジェクト進行中のユタカ電業株式会社様からシアバタースキンケア製品「イルシア」が発売。発売日9/28に社内記念イベントが開催され社長様とメンバーから発売までの1年間の想いや製品のコンセプトなどが伝えられました。

スキンケア製品デザインの経緯

鉄道情報通信機器製造がメインのユタカ電業ですが、鈴木社長様から「アフリカ・ブルキナファソのシアバターを使用した自然派の化粧品を販売したい。その際はパッケージデザインをお願いしたい。」とお話を頂いたのは今から2年以上前のことです。そこからユタカ電業のスタッフをメインにイルシアチームが立ち上がりました。

デザインは容器選びから

チームメンバーで製品のコンセプト・ペルソナ・見せ方などを時間をかけて話し合ってきました。デザイン制作として一番最初

に取りかかったのは容器選びです。販売する化粧水とクリームそれぞれの成分や量に合わせていくつかの候補に絞りながら、東京のコスメ展示会に実物を見に行きました。当初ほぼ決まっていた個性的な形の容器から、配送面でのコスト・環境配慮を考えて現在のシンプルな薄型の容器に決まりました。

プロダクトデザインに込めた想い

イルシアが掲げる「クリーンビューティー」は内面から湧き出る美しさ、人・地球・環境にやさしい未来を紡ぐ想いを込めたフィロソフィーです。

“紡ぐ”を表現したシンボルマーク。メインカラーに定めたシアバターの色のアイボリー。水滴マーク(高純度・安全な原料を使用)ウサギマーク(動物実験なし)地球マーク(持続可能な環境に貢献)。これらは、どれもイルシアの伝えたいメッセージを目にみえる形として表現したデザインです。

No.22 加藤の社長ブログ

Design Executive Officer

DEO NOTE



ジェンダー、LGBTQ+

>中学生からジェンダーに関する取材を受けました

岩手大学教育学部附属中学校の1年生からジェンダー、LGBTQ+に関するインタビューを受けました。5名の中学生が来社してくれて、質問に答えたり意見交換を行いました。

中学生に聞かれた質問を挙げておきます。

- ・LGBTQにどのように向き合うべきか(当事者の場合、そうでない場合)
- ・なぜLGBTQを支援しようと思ったのか
- ・レインボーマーチではどのような取り組みを行っているのか
- ・なぜ、男女格差が起こるのか、男女格差を無くすために必要なことは何か
- ・「トランス男性」「トランス女性」という言葉をどう思うか、必要か否か
- ・トランスジェンダー職員の女性トイレ利用裁判についてどう思うか
- ・女子の学生服はスカートからズボンと選べるようになってるのに、男子の制服は選べないことについてどう思うか

12、13歳の子達からの質問です。企業の皆さんはどれくらい知っていて、持論を持ってお話しできますか？今回はジェンダーやLGBTQ+に興味がある生徒さんがチームになっていますが、中学生からのオファーでこんな話をする日が来るとは想像しておらず、びっくりしたのと、リテラシーの底上げ感を感じました。

(気になる記事の続きは下記QRコードから！)



上記ブログ続きは右記QRコードからnoteで読めます →→→

